

Ⅱ 生活必需物資の確保 及び価格の安定



平成24年度の事業概要

平成23年度の実績

実績
評価

1 生活必需物資の確保及び価格の安定(経済労働局)

(1) 北部市場施設整備事業

施設利用の効率化と安全性、場内の衛生的環境の確保を図るため、昨年から引き続き消防設備改修工事、電気メーター交換工事、屋上ほか防水工事等を行う。また、水道メーター交換工事・冷蔵庫2号棟床改修工事等を行う。さらに、施設再整備事業として、青果低温卸売場新設工事・冷蔵庫新築工事・花き前屋根設置工事・花き仲卸売場改修工事・トイレ改修工事等を行う。

(2) 南部市場施設維持補修工事業

安全で衛生的な市場環境を確保するため、青果卸売棟屋上駐車場トップライト及び雨漏り補修工事、北門及び塀補修工事、場内通路舗装補修工事等を行う。

(3) 集荷強化対策事業

市場間競争が激化するなかにあたって、一層の集荷の充実と強化を図るための事業を実施する。

(4) 出荷契約団体報償金交付

鮮度の高い近郊産地の青果物の安定的な供給を確保するため、出荷者と卸売業者の間で年間出荷契約を締結し、契約を履行した出荷者に対して報償金を交付する。

交付予定団体数 10団体

1 生活必需物資の確保及び価格の安定

(1) 北部市場施設整備事業

- ・直流電源装置更新工事
- ・消防設備改修工事
- ・電気メーター交換工事
- ・場内通路舗装側溝改修工事
- ・汚水処理場設備改修工事
- ・重量シャッター改修工事
- ・屋上ほか防水工事
- ・屋内配管保温改修工事

(2) 南部市場施設改修工事業

- ・南部市場場内監視カメラ設備改修工事
- ・南部市場場内通路舗装補修工事
- ・南部市場青果棟電気設備改修工事
- ・南部市場敷地境界塀改修工事

(3) 集荷強化対策事業

① 優良出荷者表彰

- | | |
|-------|------|
| 表彰者数 | 11団体 |
| ・青果部 | 5団体 |
| ・水産物部 | 4団体 |
| ・花き部 | 2団体 |

② 産地向け及び買出人向けアンケート調査の実施

- ・産地向け 139通(200通送付)
- ・買出人向け 154通(600通送付)

③ 産地向けパンフレットの発行

作成数 2,000通

(4) 出荷契約団体報償金交付

交付団体数 7団体

◎

◎

◎

◎

◎

◎

平成24年度の事業概要

平成23年度の実績

実績
評価

(5) 産地直売団体育成支援対策

産地直売活動を通して、新鮮な地場産野菜を直接消費者に供給する生産者団体を育成することにより、地場産野菜の生産振興を図るとともに、農業者との交流を図ることを目的として、直売団体に対して奨励金を交付する。

また、大型農産物直売所セレサモスについては消費者に農産物を安定的に供給するため、出荷者(市内農業者に限る)に対し売上額の2%以内の額を大型農産物直売所出荷奨励金として交付する。

交付予定件数 5件

(6) 職員調査

日常生活に不可欠な生活必需物資の価格動向及び需給状況の監視調査等を行い、必要に応じて価格需給動向について、生産者、流通業者等の関係業界から事情聴取を行う業界事情調査を実施する。

(7) 市民生活緊急対策

生活必需物資の供給不足や価格が著しく高騰するなどの緊急時には、価格の安定と供給の確保に必要な措置を行うため、関係機関との連絡調整、情報収集等を行い、市民生活安定のための対策を推進する。

(5) 産地直売団体育成支援対策

市内産農産物の直売を通じて、生産者と消費者の交流を深め、併せて流通のコスト削減を図った。

直売団体名	栽培面積	直売所	移動販売車
J Aセレサ川崎 そ菜部	23.9ha	11ヶ所	—
黒川農産物 直売会	2.5ha	2ヶ所	—
岡上直売会	5.4ha	1ヶ所	1台
J Aセレサ川崎 青壮年部高津支部	1.9ha	1ヶ所	—
小計	33.7ha	15ヶ所	1台
J Aセレサ川崎 セレサモス	—	1ヶ所	—
合計	33.7ha	16ヶ所	1台

* J Aセレサ川崎セレサモスを除く直売団体は、栽培面積に応じた奨励金を交付

(6) 職員調査

生活必需物資の価格動向及び需給状況の監視等を行い、必要に応じてホームページ等で注意喚起を行った。

(7) 市民生活緊急対策

市民生活緊急対策を要する事態はなかった。

◎

◎

—

2 災害緊急対策

- (1) 生活必需品の提供確保（経済労働局）
- ① 市内のデパート・スーパー等と締結している「災害時における生活必需物資の供給協力に関する協定」に基づき供給体制の充実を図る。
 - ② 生活協同組合と締結している「災害時における応急生活物資供給等の協力に関する協定」については、定期協議を通じて、応急生活物資等の確保に努める。
 - ③ 神奈川県牛乳流通改善協会と平成 23 年度に締結した「災害時における牛乳等の供給協力に関する協定」に基づき、供給体制の充実を図る。
 - ④ 大手コンビニエンスストアと締結している「災害時における物資の供給に関する協定」に基づき供給体制の充実を図る。

- (2) 飲料水の供給（上下水道局）
- 水道は、ライフラインとして市民生活にとって不可欠なことから、震災時の飲み水の確保のため、地震に強い耐震継手を使用した水道管の整備を進めるとともに、応急給水拠点の整備を行う。24年度は新たに応急給水拠点を7箇所（うち循環式貯水槽を1基）設置する。
- また、飲料水の汲み置き、最寄の応急給水拠点の場所の確認など、防災意識の高揚を促すことを目的として、地域住民参加による応急給水訓練を実施する。

2 災害緊急対策

- (1) 生活必需品の提供確保
- ① 市内のデパート・スーパー等と締結している「災害時における生活必需物資の供給協力に関する協定」に基づき供給体制の確認を行った。 (C)
 - ② 川崎市生活協同組合運営協議会に加入する生活協同組合の協力を得て「災害時における応急生活物資の供給協力に関する協定」の実効性を高めるため、締結団体と定期協議を実施するとともに本市危機管理室の視察を伴う研修会や情報伝達訓練を行った。 (C)
 - ③ 新たに、神奈川県牛乳流通改善協会と「災害時における牛乳等の供給協力に関する協定」を締結した。(締結式 3月22日) (B)

- (2) 飲料水の供給 (C)
- 震災時の飲み水の確保のため、応急給水拠点を新たに5箇所（うち循環式貯水槽2基）設置した。
- また、財団法人川崎市水道サービス公社と共同で地域住民参加による応急給水訓練を計27回実施し、訓練実施区の応急給水拠点の確認や給水タンク車等から応急給水資器材を立ち上げての給水訓練を行い、防災意識の高揚を促した。

平成24年度の事業概要

平成23年度の実績

実績
評価

(3) 備蓄物資等の整備 (総務局)

① 備蓄生活用品の購入

避難所で生活する被災者にとって、毛布は必要不可欠であり、緊急性が高いものであることから、一人一枚程度整備する必要がある。24年度は、「川崎市備蓄計画」に基づき、27,010枚を整備する。

② 備蓄食料の購入

備蓄食料品については、「川崎市備蓄計画」に基づき、想定避難者数のうち、家屋が全壊もしくは全焼した方を対象に、一人2食分を整備する必要がある。24年度は23年度末で賞味期限を迎える56,850食の更新を行う。

③ 粉ミルクの購入

粉ミルクについては、「川崎市備蓄計画」に基づき、想定避難者数のうち、家屋が全壊もしくは全焼した方で0歳を対象とした粉ミルクを整備する。24年度は計画数である565kgを整備する。

④ 備蓄倉庫の建築

川崎市地域防災計画(震災対策編)に基づき、地震等の災害時における応急対策の迅速・確実な対応を期するため、市立中学校51校及び南部防災センターを地域防災拠点として、食料や生活用品、応急用資機材の整備を行うための備蓄倉庫を建築する。24年度においては、備蓄倉庫のない学校を優先し、空き教室活用校を含めた市内中学校5校において建築を行う

(3) 備蓄物資等の整備

① 備蓄生活用品の購入

災害対策用毛布 26,900枚

② 備蓄食料の購入

アルファ化米(五目御飯) 20,000食

③ 粉ミルクの購入

アレルギー対応粉ミルク 565kg

④ 備蓄倉庫の建築

独立型備蓄倉庫 2棟

⑤ 備蓄用資器材・備品の購入

備蓄用資器材及び備品については、「川崎市備蓄計画」に基づき、順次整備していく予定であったが、東日本大震災を受けて、平成23年度に必要な数量を整備した。

・パール 149本
 ・カセットコンロ 174個
 ・炊出し用鍋 96個
 ・鋳物コンロ 6個

Ⓑ

Ⓑ

Ⓒ

Ⓒ

Ⓑ

平成 24 年度の事業概要

平成 23 年度の実績

実績
評価

(4) 防災に関する情報 (総務局)

① ぼうさい出前講座

防災に対する理解と関心を深め、防災意識の高揚と地域の防災力向上を図ることを目的とし、ぼうさい出前講座を実施する。

② 冊子「備える。かわさき」を発行

災害に対する日ごろの備えなど、各個人、家庭での防災対策や、地域の防災を考える際に役立つ情報を掲載した「備える。かわさき(保存版)」を発行する。

また、外出時の防災対策についてまとめた「備える。かわさき」ポータブル版及び、小学校や保育園の児童、外国人市民などに向けて、防災知識の普及啓発を一層図るために、難しい言葉や専門的な言葉を簡単な言葉に置き換えた「やさしいにほんご版」を発行する。

(4) 防災に関する情報

① ぼうさい出前講座

防災に対する理解と関心を深め、防災意識の高揚と地域の防災力向上を図ることを目的とし、ぼうさい出前講座を実施した。

実施回数 160回

② 冊子「備える。かわさき」を発行

保存版	125,000部
ポータブル	45,000部
やさしいにほんご版	200,000部

③ 企業向け防災啓発広報紙「川崎市防災対策ガイドブック ～企業・事業所の方へ～」の発行

企業向け防災啓発広報紙については、川崎市防災協力連絡会で平成22年度～平成23年度にかけて作成することを検討しており、平成23年度に必要部数を発行した。

発行部数 5,000部

Ⓑ

Ⓑ

Ⓒ